



# ネットを通して交流する子どもの研究

～ジェンダーの視点から情報モラル教育を考える～

教育学部児童教育学科 講師 佐藤 奈月

## キーワード

子どものネット上の交流、情報モラル教育、ネットリテラシー、ジェンダー、子どもの権利

## 該当するSDGs

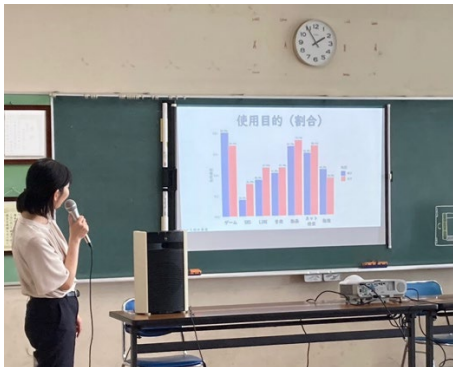
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 1 研究内容

小学生～高校生が、インターネットを通して見知らぬ他者と交流することについての研究を行っています。ネット交流をする子どもは必ずしも無知ではなく、子どもなりにリスク回避の方法を考え、親密な関係を構築しています。また、ジェンダーの観点から見ると、大人の側にも、女子のネット交流を特に問題視しやすいバイアスがあります。こうした思い込みから子どもの考えや経験を誤解すると、子どもを守る助言のつもりが、かえって危険に追いやることにもなりかねません。

どのような子どもにも安全に社会参加できる権利があることを前提に、ジェンダーバイアスがなく、子どもと大人が対話的に学び合える新しい情報モラル教育を考えていきたいです。



小学校での授業実践の様子

## 2 連携可能性のある研究分野、又は、これまでの連携実績

### 連携可能性のある研究分野

子どものネット利用やジェンダーに関心がある方と共同研究できる可能性があります。また、以下の内容についても、連携して実施できる可能性があります。

- ・子どものネット利用に関する実態調査、調査結果を元にした学校への助言
- ・情報モラル教育・デジタルシティズンシップ教育をテーマとした講座講師
- ・情報モラル教育・デジタルシティズンシップ教育の授業プログラムの共同開発
- ・学校におけるジェンダーバイアスに関する研修の設計・実施

### これまでの連携実績

- ・子どものネット交流に関する、2つの教育委員会との大規模調査プロジェクト
- ・小学校・中学校における情報モラル講話の実践研究
- ・一般社団法人セーフインターネット協会 研修会講師
- ・認定NPO法人3keysとの共同研究(子どもの虐待、思春期男子の性について)